

株式会社カーチスホールディングス (東証2部 7602)
平成24年3月期 第1四半期決算短信説明資料
平成23年8月10日

人と人を車でつなぐ架け橋 カーチス



ご注意:当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

目 次

【1】平成24年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

- ①自動車流通業市場の背景
- ②業績ハイライト
- ③貸借対照表
- ④損益計算書
- ⑤キャッシュ・フロー計算書
- ⑥-1業績トピックス(売上高およびユーザー買取台数の伸張)
- ⑥-2業績トピックス(控訴審逆転勝訴)

【2】営業施策進捗

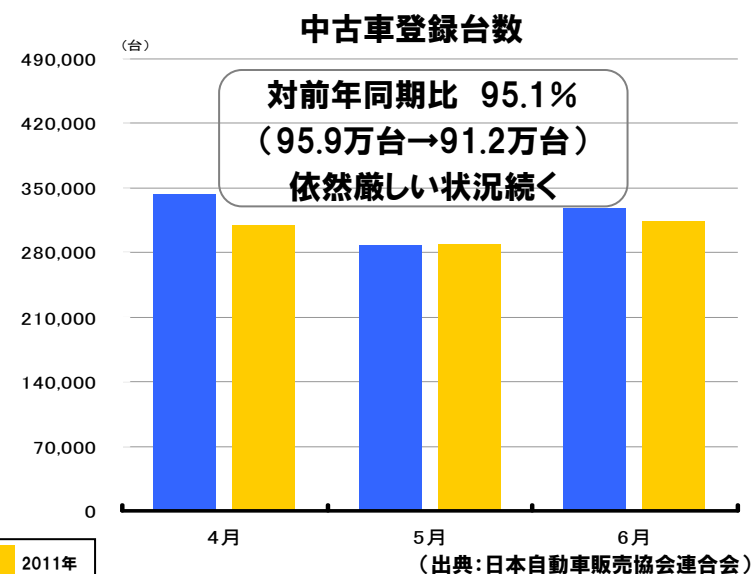
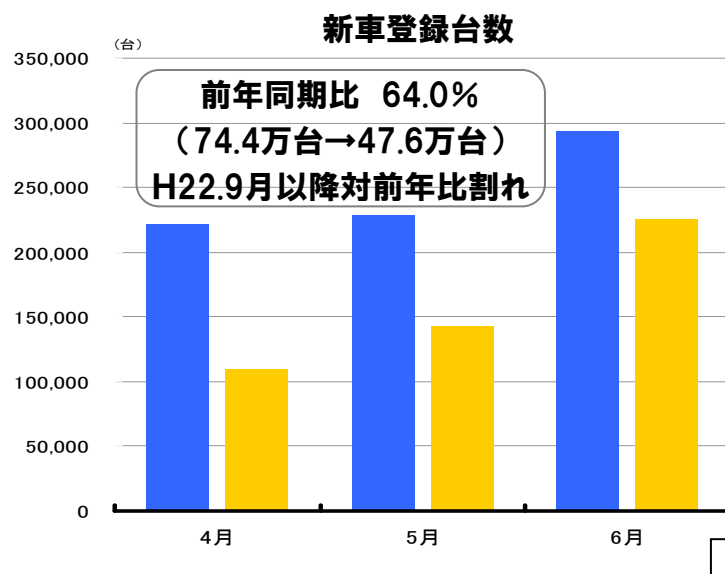
- ①業者向け販売の強化および新規出店計画
- ②感謝フェアの開催およびM & A・海外進出の検討

【1】平成24年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

①自動車流通業市場の背景

東日本大震災および原発事故による 新車減産の影響続く

- ✓ 新車減産および消費の落ち込みにより新車販売は低迷。
- ✓ 新車販売の低迷および震災の影響から中古車登録台数は、前年同期を下回る。
- ✓ 国内における新車の生産停滞は、今夏以降解消し、新車販売も回復する見込みであるが、中古車需要の動向は、未だ不透明。

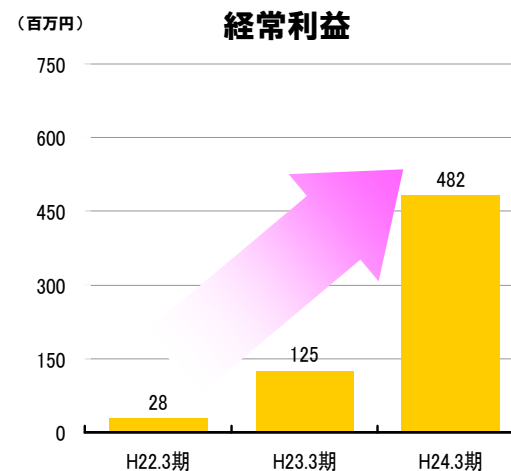
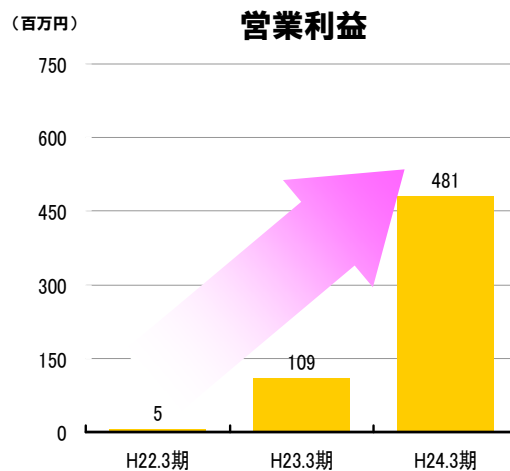
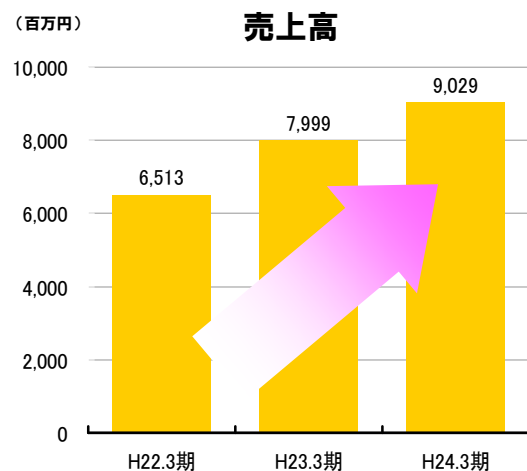


【1】平成24年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

②業績ハイライト

例年苦戦を強いられる1Qにおいて、
大幅な増収増益(対前年同期比)を達成

【1 Q】売上高 9,029百万円（前年同期比112.9%）
営業利益 481百万円（前年同期比440.7%）
経常利益 482百万円（前年同期比385.6%）



【1】平成24年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

③貸借対照表

自己資本比率の倍増により財務健全性が大幅に向上

(単位:百万円)

	平成24年3月期 1Q	平成23年3月期末	前期末比
流動資産	5,608	5,252	106.8%
固定資産	993	1,066	93.2%
総資産	6,602	6,318	104.5%
流動負債	2,117	4,128	51.3%
固定負債	150	147	102.5%
純資産	4,333	2,042	212.2%
負債・純資産合計	6,602	6,318	104.5%

《補足説明》

- ✓ 流動資産 : 現金及び預金の増加および売掛金、商品の減少
流動比率264.8%(前期末127.2%)
- ✓ 固定資産 : 投資有価証券、差入敷金保証金の減少
- ✓ 流動負債 : 訴訟損失引当金および閉鎖店舗引当金の減少
- ✓ 純資産 : 四半期純利益2,304百万円の計上により大幅に増加、自己資本比率65.5%(前期末32.1%)

【1】平成24年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

④損益計算書

前年同期比2年連続の大幅な増収増益を達成

(単位:百万円)

	平成24年3月期 1Q	平成23年3月期 1Q	前年同期 増減率
売上高	9,029	7,999	112.9%
売上原価	7,111	6,464	110.0%
売上総利益	1,918	1,534	125.0%
販管費	1,436	1,424	100.8%
営業利益	481	109	440.7%
経常利益	482	125	385.6%
四半期純利益	2,304	39	5,771.0%

《補足説明》

- ✓ 売上高 : 新車販売不振等による厳しい環境の中、新規出店及び従業員の生産性向上により、前1Q比112.9%と大幅増収
- ✓ 売上総利益 : ユーザー買取台数が前1Q比108.9%増加し、売上総利益額も前1Q比125.0%と増加
オートオークション販売の相場好調等の要因から、売上総利益率は前1Q比2.0%増と改善
- ✓ 販売管理費 : 新規出店による人件費等の増加はあるものの、水道光熱費の減少(節電効果)等により、前1Q比100.8%に抑制
- ✓ 営業利益 : 前1Q比440.7%と大幅に増加
- ✓ 四半期純利益 : 特別利益1,832百万円を計上し、四半期純利益2,304百万円となる

【1】平成24年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

⑤キャッシュ・フロー計算書

営業キャッシュ・フロー大幅に増加

(単位:百万円)

	平成23年3月期 1Q	平成22年3月期 1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,458	450
投資活動によるキャッシュ・フロー	41	143
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	△0
現金及び現金同等物の期末残高	2,706	1,501

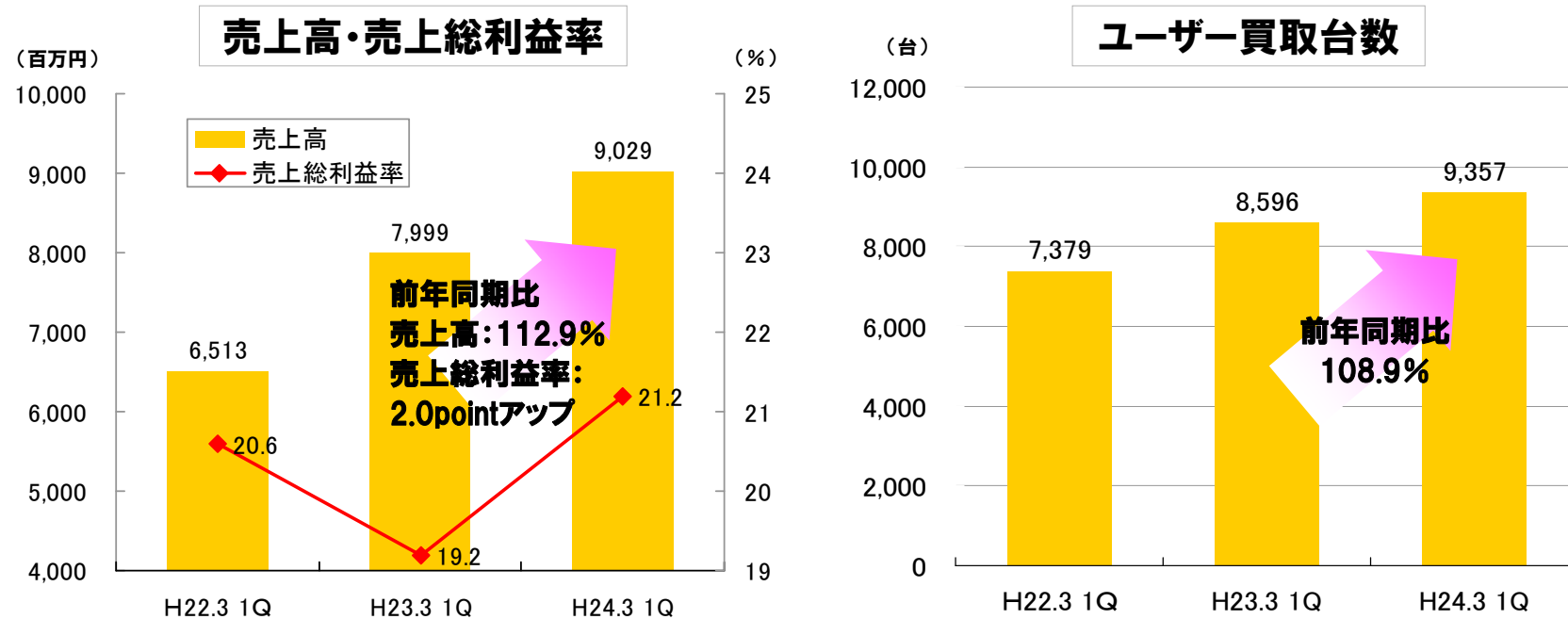
《補足説明》

- ✓ 営業CF : 訴訟の判決による拘束性預金(500百万円)が控訴審勝訴によって解除
前期末において、東日本大震災の影響でオートオークションの休催等が発生したことに起因し、在庫・売掛金が一時的に急増。それらが現金化されたことにより、本第1四半期の営業CFは前年同期比大幅に増加
- ✓ 投資CF : 敷金回収による収入

【1】平成24年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

⑥-1業績トピックス(売上高およびユーザー買取台数の伸張)

■売上高の続伸と売上総利益率の改善およびユーザー買取台数の伸張



- ✓ 新車の販売低迷による中古車の供給不足の中、前々期からの積極的かつ効果的な新規出店によりユーザー買取台数が伸張。
- ✓ 売上総利益率は、オートオークションの好調な相場等により、21.2%(前1Qより2.0ポイント増加)

【1】平成24年3月期 第1四半期累計期間決算の状況

⑥-2業績トピックス(控訴審逆転勝訴)

■ 預託金返還請求訴訟の経緯

- ✓平成20年3月4日、東京地方裁判所に当社元役員(以下、「原告」という。)より、当社に預託した約37.4億円の返還請求権を有しているとして訴訟を提起される。
- ✓一審判決 (平成22年10月12日)
原告側の主張を全面的に認める判決により当社敗訴
- ✓一審判決に対する控訴を申立
- ✓当社特定子会社株式を供託することにより、執行停止決定

■ 第1Q進捗

控訴審完全勝訴

一審判決が棄却され、当社の主張が全面的に認められる。
一審判決により、拘束されていた預金5億円は、拘束解除となる。

(平成23年6月15日プレスリリース)

上告受理の申立て

一審原告である被控訴人より上告受理申立てがなされる。

(平成23年6月30日プレスリリース)

特別利益の計上

訴訟損失引当金戻入益 1,799百万円を計上

平成20年3月期決算において計上した訴訟損失引当金1,871百万円について、監査法人との協議の結果、弁護士費用等を除いた金額を特別利益として計上。

(平成23年8月5日プレスリリース)

【2】 営業施策進捗

① 業者向け販売の強化および新規出店計画

■ カーチス倶楽部の更なる拡充(H23.12末目標会員数 15,000社)

- ✓ 会員数12,875社(平成23年7月31日現在) ⇒ 順調に進捗
- ✓ H23.2月よりスタートした、中部自動車販売(株)との共有在庫システムの確立に続き、他社との共有在庫に関する業務提携を検討中、会員様及びエンドユーザーの更なるニーズに応える
- ✓ 会員様とのお取引の更なる活性化を目指す

■ 第1Q 2店舗新規出店(東京都小平市、長野県松本市)

※ 今期中に10店舗の出店を計画

- ✓ 前期出店店舗(5店舗)の第1Qの実績
売上高 501百万円 店舗収益 30百万円

引き続き、東名阪を中心に積極的な出店



【カーチス松本 店舗外観】

【2】営業施策進捗

②感謝フェアの開催およびM & A・海外進出の検討

■「GO! GO! 感謝フェア」開催中(8月末まで)



- ✓「カーチス5周年」および「お客様満足度5年連続No.1(株式会社ウェブクルーが運営する「車買取.com」)」など皆様のご愛顧に感謝して、各種特選車を厳選し、特別価格にてご提供

大型展示場5店舗(仙台・水戸・千葉・枚方・南港)
を中心に特選車を展示し、販促イベントを開催

■ M & A・海外進出の検討

- ✓国内外問わずM&Aや業務提携を積極的に検討
- ✓特に、アジア新興国や発展途上国への進出、現地でのパートナー企業の選定を積極的に推進
- ✓進出国の中古車市場の流通システムの構築に貢献し、現地での知名度向上・シェア拡大を図る



海外進出に向け、現地パートナー企業との協議を開始